

# 魅力発見! 尾瀬マップ

## 尾瀬ヶ原編



### 尾瀬のトイレ

公衆トイレと山小屋の排水は、尾瀬のきれいな水を守るため合併処理浄化槽などで処理しています。太陽光パネルのついたトイレもあります(富士見峠)。トイレの維持・管理の為にチップ等のご協力をお願いしています。



### 挾水林

尾瀬ヶ原を流れる川に沿って帯状の林がみられる場所があります。栄養分の少ない尾瀬ヶ原の中で、川の上流の山から運ばれた土砂が帯状に堆積したところに木が育ち、林となりました。尾瀬ヶ原には、湿原の水が浸みだして川となった、挾水林がない川(下ノ大堀川など)と山からの水が流れる挾水林のある川、二種類の川があります。

### 根曲り

尾瀬ヶ原に向かう林の中で、斜面に生えている木の根元が下に曲がっているのを見かけます。これを「根曲り」と言い、まだ若い木の時期に雪の重みで下に曲がり、夏に上に向かって育つため、このような形になります。雪の多い地域ならではの光景です。

### 入山にあたって

- 靴には気を配りましょう。(トレッキングシューズがおすすめ)
- 尾瀬は山岳地帯ですので天候が変化しやすく、夏でも上着が必要です。雨具の準備も忘れずに。
- 木道は滑りやすいので、気を付けましょう。
- 倒木・落石など、周囲の状況には十分お気を付け下さい。
- ツキノワグマに注意して下さい。
- 時間・体力には余裕を持ったスケジュールをお願いします。
- 自分の安全は自分で確保。自己責任で尾瀬の自然を楽しんでください。
- ゴミの持ち帰りにご協力ください。
- 尾瀬のものは全て持ち出し禁止です。(落ち葉・枯れ木含む)

ヘリコプター  
尾瀬ヘトラックは入れないため、木道などの物品はヘリコプターで運びます。



オコジヨ  
ぼっか歩荷さん  
山小屋に荷物を届けます。一度に運ぶ荷物の重さは70~90kg!

オゼソウ  
尾瀬で発見された植物です。尾瀬、谷川岳・北海道の一部にしか生育しない貴重な植物。

1 至仏山  
至仏山の絶景  
ビュースポットです

入山者カウンター  
右側通行をお願いします。

種子おしりマント  
外来種の侵入を防ぐため、靴底をキレイにして入山しましょう

初級者トレッキングコース (木道含むほぼ平坦な道)  
初級者トレッキングコース (比較的歩きやすい山道)  
中級者トレッキングコース (急勾配などあり、健脚向き)  
TEPCOが管理の木道  
登山道  
ビュースポット  
食事  
WCトイレ

三条ノ滝  
新潟県と福島県の県境にあります。日本の滝百選のひとつ。



元湯山荘 WC  
温泉のある山小屋  
泉質:硫酸塩泉 (pH5.5)

ハートの切り株  
太陽光パネル  
東電小屋  
東電尾瀬橋 3代目の橋です。

見晴(十字路) WC

草紅葉  
9月中旬くらいから草紅葉が始まります。湿原一帯の草が黄金に輝くのは必見です!

2 竜宮 WC  
この辺りが3県の県境になっています

逆さ燧ヶ岳  
燧ヶ岳のビュースポット。晴れた日には池塘に見事な逆さ燧ヶ岳が見えます!

牛首分岐ベンチ  
分岐地点に休憩スペースがあります。ここでホッピー一息

4 湿原  
尾瀬の定番撮影ポイントです。

ワタスゲ  
6月下旬~7月上旬が見ごろ。

カラマツ紅葉  
晴天時には黄金に見える! 黄色に色づきとても美しいです。

アヤマメ平ベンチ  
ここで一息。アヤマメのパンoramビューが楽しめます!

3 アヤマメ平  
燧ヶ岳、至仏山など360°の山々が見渡せ、素晴らしい展望です!

ニッコウキスゲ  
7月中旬~8月上旬が見ごろ。

エゾリンドウ  
9月~10月が見ごろ。

富士見峠  
富士見峠看板

ツキノワグマ

ハチョウトンボ  
体長2cm程度の日本一小さいトンボです!

ミズバショウ  
5月下旬~6月下旬が見ごろ。

熊バベル  
通行時に鳴らしましょう。

イワナ

鳥待山荘  
花豆ソフト、登山グッズ、お土産はここで買えます。食事コーナーもあります。

入口看板  
尾瀬の入口にあります。尾瀬の記念に1枚バチリ

花豆ソフト  
テレビで紹介されました。地元「花豆」を使用した絶品ソフトクリーム!

### 尾瀬ヶ原の四季

5月中旬~6月上旬に残雪が消えると短い春を迎え、本格的な尾瀬のシーズンが始まります。春から夏へ季節が移ろうにつれ、湿原を彩る主役もミズバショウ、ワタスゲ、ニッコウキスゲと交代していきます。9月に入ると草紅葉が楽しめる短い秋が到来、10月初めには山が紅葉し、山小屋も冬支度に入ります。そして翌年の5月までの長い冬の期間、尾瀬は雪に閉ざされます。

### 木道

湿原を守るため、尾瀬のほぼ全域の湿原、山間部に敷かれています。主にカラマツ材を使用し、表面には管理者と敷設年を示す焼印があります。全長は約65キロ、うち約20キロはTEPCOが管理しています。古い木道の一部は「木道ペーパー」として尾瀬ノートの紙などにリサイクルしています。



### 池塘

湿原の中の池を「池塘(ちとう)」といいます。尾瀬には約1,800個以上あり、アカハライモリやトンボの住処となっています。池塘の中に浮いている湿原を「浮島」といいます。

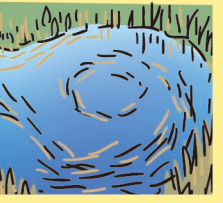


### 1 至仏山

日本百名山の1つです。標高2,228.1メートル。2億年以上前に形成された岩(蛇紋岩)が長い年月をかけて隆起してできました。山全体が蛇紋岩でできているため「蛇紋岩植物」と呼ばれる植物が生育し植物ファンに名高い山です。オゼソウなど高山植物が有名です。

### 2 竜宮

このあたりには川の水を吸い込む穴があり、この穴は「竜宮城」まで通じているものだろう、という空想から「竜宮」と呼ばれるようになりました。少し離れたところには水の出口(湧出口)があります。尾瀬ならではの、神秘的な名所です!



### 3 アヤマメ平

開花前の群生した「キンコウカ」の葉をアヤマメと見間違えたことから名付けられたと言われています。「天上の楽園」と呼ばれ、昭和30年代には、多くの人に踏み荒され、湿原が荒廃。木道の設置などの保全活動が始まりました。昭和40年代から植生を回復する取り組みを実施し、今では美しい湿原が戻ってきています。

### 4 湿原

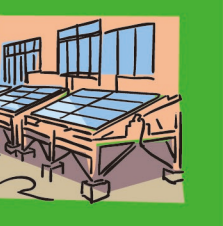
尾瀬の定番撮影ポイントです!

本州最大の高層湿原! 「湿原」は1年間に約1ミリラの泥炭が積み重なった上に、ミズゴケなど湿生の植物が生えてできています。泥炭は約4メートル以上ある所もあり約7,000~8,000年以上かけて堆積したものです。



### 尾瀬のエネルギー事情

山ノ鼻(至仏山荘)までは電気が届いていますが、そこから先はヘリコプターで運んだ軽油を燃やして発電しています。尾瀬のキレイな空気を守り、CO2を減らすため、東電小屋や富士見峠にある公衆トイレには太陽光パネルを設置、また、至仏山荘では空気の熱でお湯を沸かす給湯機エコキュートを設置しています。



### 白虹

霧(モヤ)の出た朝に、太陽と反対側に見られるようです。尾瀬ヶ原で見られます。太陽があがってしまふとあっという間に消えてしまふので、お見逃しなく!

